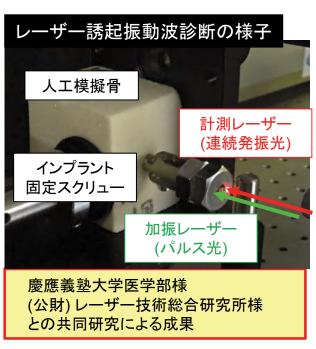
36 レーザー誘起振動波診断を用いたインプラント設置強度の定量評価

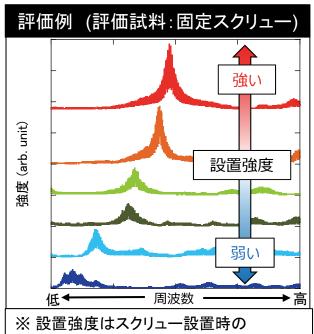


レーザーパルス照射で生じる試料の振動を、レーザー振動計で計測することにより、 高速にインプラント設置強度の定量評価を可能にする

シーズの特徴(成果含む)

- ・レーザー誘起振動波診断は、パルスレーザー (加振レーザー) を照射することで試料を振動させ、誘起された振動をレーザー振動計で計測する診断手法
- ・振動ピーク周波数からインプラントの設置強度を定量評価することが可能
- ・従来難しかった、術中に適応可能な診断技術の開発を推進





- 測定時間は10秒以内と高速、試料にレーザーを照射するだけと簡便
- 固定スクリュー以外のインプラント (人工関節カップなど) にも対応可能

アウトカム

医工連携 新規医療機器開発

アウトカムに至る段階

製品化段階

連携希望企業

医療機器メーカー

知財等関連情報

埋入ピークトルクで定義

"インプラント設置強度評価方法、インプラント 設置強度評価装置、およびプログラム" PCT/JP2018/033978

担当者

量子ビーム科学部門 関西光科学研究所光量子科学研究部X線レーザー研究グループ 錦野 将元

本シーズの問合せ先:量子ビーム科学部門研究企画部(qubs-techoffice@qst.go.jp)